

競輪補助事業完了のお知らせ

この度、平成24年度に競輪の補助金を受けて、下記の事業を完了いたしました。

1. 事業名 平成24年度障害を持つ人が幸せに暮らせる社会を作る活動補助事業
2. 事業の内容
 - (1) 啓発誌「こころの元気+」の発行
 - (2) ピア・ネットワーキング・プロモーション研修の開催
3. 事業費総額 14,303,207 円
4. 補助金額 8,939,385 円
5. 実施場所
 - (1) 当法人事務局 (千葉県市川市平田3-5-1 トノックスビル2F)
 - (2) 千葉、富山、名古屋、大阪
6. 事業完了日 平成25年3月31日

特定非営利活動法人地域精神保健福祉機構

代表理事 大嶋 巖

【平成24年度競輪補助事業報告】

補助事業番号 24-2-049

補助事業名 平成24年度 障害を持つ人が幸せに暮らせる社会を作る活動補助事業

補助事業者名 特定非営利活動法人 地域精神保健福祉機構

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

精神障害に対する正しい知識の普及活動を行い、もって社会福祉の増進に寄与する。

(2) 実施内容

① 啓発誌の発行

- 1) 対象：精神障害者とその家族、支援関係者及び一般の方
- 2) 内容：精神疾患に関する正しい知識、病気の方やご家族の体験談、福祉制度の解説の他、精神疾患や薬、社会資源等の最新情報などを掲載。
- 3) 様式：B5版64頁
- 4) 発行部数：毎月10,000部×12回

○啓発誌「こころの元気+」

- 5月号 特集「恋愛と結婚を本気で考える！」
- 6月号 特集「外に出られません」
- 7月号 特集「直前特集！ リカバリーフォーラム」
- 8月号 特集「メンタルヘルスマンガの世界」
- 9月号 特集「元気回復行動プランをつくってみる」
- 10月号 特集「躁うつ病のことを知りたい」
- 11月号 特集「親を支える」
- 12月号 特集「うちまで来てくれるサービス」
- 1月号 特集「失敗しちゃいました」
- 2月号 特集「発表！ ストレス解消ランキング！」
- 3月号 特集「お医者さんで苦労してます」
- 4月号 特集「まんが特集：私の気持ちをわかってください」

②ピア・ネットワーキング・プロモーション研修の開催

- 1) 対象：精神疾患の当事者
- 2) 内容：孤立しがちな当事者が他の当事者と情報や経験を共有する機会を提供し、全国で広まりつつあるピア活動のネットワークを作る。
- 3) 時期：年間4回（2.3月に開催）
- 4) 場所：日本全国4カ所にて開催（千葉、富山、大阪、愛知で開催）

○第5回ピア・ネットワーキング・プロモーション研修 in 千葉

日 時：平成25年2月2日 ピア・ネットワーキング・プロモーション研修(千葉)開催
会 場：千葉市文化センター 6階スタジオ1（千葉県千葉市中央区中央2-5-1）
参加者：39名



○第6回ピア・ネットワーキング・プロモーション研修 in 富山

日 時 : 平成25年3月10日

会 場 : 富山県民共生センター サンフォルテ (富山県富山市湊入船町6-7)

参加者 : 44名



○第7回ピア・ネットワーキング・プロモーション研修 in 大阪

日 時 : 平成25年3月14日

会 場 : 大阪市立総合生涯学習センター 5階第1研修室

(大阪府大阪市北区梅田1-2-2-500 大阪駅前第2ビル5.6階)

参加者 : 47名



○第8回ピア・ネットワーキング・プロモーション研修 in 愛知

日 時 : 平成25年3月26日

会 場 : 日本福祉大学 名古屋キャンパス南館4階401教室

(愛知県名古屋市中区千代田5-22-35)

参加者 : 38名



2 予想される事業実施効果

① 啓発誌の発行

この事業の根幹は「リカバリー」という考え方・文化を普及させることである。我々が行う他の事業などとあわせ、「リカバリー」の考えは確実に日本に広がりつつある。これまで、「管理されるべき対象」であった当事者は、「あらゆる可能性をもった人たち」と認識が変わってきている。このことにより、当事者や家族は人生上のチャレンジを指向するようになる。また、支援者たちの立ち位置も、本人の可能性を信じるものになっていく。この事業が継続的に普及をすること、つまり、病気についての正しい知識を知り、「病気とつきあう」体験を重視した啓発冊子を読み続けることで、リカバリー指向はさらに拡大すると思われる。

②ピア・ネットワーキング・プロモーション研修事業

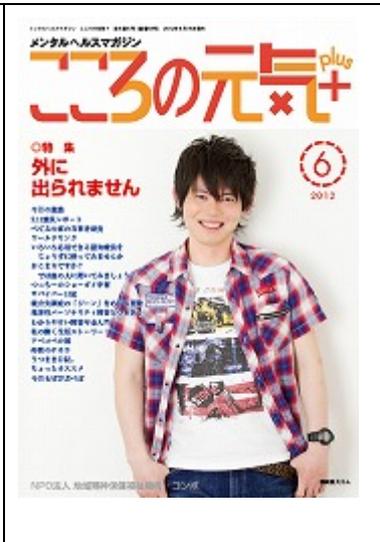
この研修会はそれまで孤立していた当事者にとって、エンパワメントの始めの一歩となり、リカバリーが展開していくきっかけの場となってきた。他団体によるピアサポーター・カウンセラー養成講座などが昨今盛んにおこなわれているが、この「始めの一歩」があつてこそだと考えている。昨年の東京都清瀬市に加え、都内国立市、また徳島市からの参加者がそれぞれの地元でピアサポートグループを始めた。孤立しがちな当事者が他の当事者と「つながる」機会が増えてきたことで、当事者が体験自らの経験を語り、情報や経験を共有する場を増やすことがピア活動のネットワークを広げることにつながる。

さらに事業を継続していくことで、精神障害をもつ人たちが主体的に生きて行くことができる社会のしくみづくり社会的課題の達成に近づくとと思われる。

3 本事業により作成した印刷物等



啓発誌「ココロの元気+」5月号



啓発誌「ココロの元気+」6月号



啓発誌「ココロの元気+」7月号



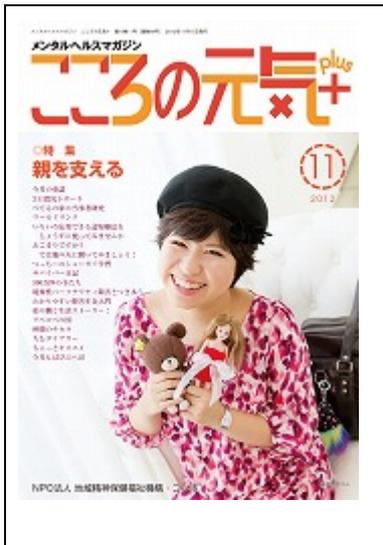
啓発誌「ココロの元気+」8月号



啓発誌「ココロの元気+」9月号



啓発誌「ココロの元気+」10月号



啓発誌「ココロの元気+」11月号



啓発誌「ココロの元気+」12月号



啓発誌「ココロの元気+」1月号



啓発誌「ココロの元気+」2月号



啓発誌「ココロの元気+」3月号



啓発誌「ココロの元気+」4月号

○啓発誌「ココロの元気+」 毎月10,000部×12ヶ月発行

☆科学的に根拠のある情報・知識の提供と、経験者の知恵を伝えるという姿勢が評価され、多くのメディアで紹介されてきた。また日本医学ジャーナリスト協会賞特別賞を受賞（平成24年10月）したことは本誌の存在が社会的にも高く評価されている証左であると受け止めている。

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 特定非営利活動法人 精神保健福祉機構(チイキセイシンホケンフクシキコウ)
 住所： 272-0031
 千葉県市川市平田3-5-1 トノックスビル2F
 代表者： 代表理事 大嶋 巖 (オオシマ イワオ)

担当部署：事務局（ジムキョク）
担当者名：寺本 育男（テラモト イクオ）
電話番号：047-320-3870
F A X：047-320-3871
E - m a i l： pr@comhbo.net
U R L： <http://comhbo.net>